

教科目名 国語総合 (General Japanese)

学科名・学年 : 全学科 2 年

単位数など : 必修 2 単位 (前期 1 コマ, 後期 1 コマ, 授業時間 46.5 時間)

担当教員 : 山田繁伸

授業の概要			
昨年度使用した 4 単位数教科書を引き続き使用し, 昨年度学習できなかった箇所を中心に学ぶ。国語を的確に理解し, 適切に表現ができるようになることを目標とする。また, 互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合う力を育成することと, 日本の言語文化に触れて感性や情緒をはぐくむことを重視した授業としたい。			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (C1)	
(1) 語句の意味・用法, 漢字の読み書き等に習熟し, 国語の表現力・理解力を身につける。(定期試験と課題)			
(2) 読む・書く・聞く・話すことの 4 活動を通して, 伝え合う力を高める。(定期試験と課題)			
(3) 優れた文学作品を読むことによって, 思考力や想像力を伸ばし, 心情を豊かにする。(定期試験と課題)			
(4) 言語感覚を磨き, 言語文化に対する関心を深め, 国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。(定期試験と課題)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	詩歌「短歌」	○短歌, 俳句に親しみ, それぞれの形式や表現の特色を理解する。 ○文化や文明についての文章を読み, ものの見方や考え方を深める。 ○自然や人間に対する昔の人の見方, 感じ方, 考え方を読み取る。	【理解の度合い】
2	詩歌「俳句」		
3	評論「情報伝達という神話」		
4	〃		
5	古文「徒然草」		
6	〃		
7	〃		
8	小説「沖縄の手記から」		
9	前期中間試験		【試験の点数】 点
10	前期中間試験の解答と解説 小説「沖縄の手記から」	○小説に親しみ, 場面や心情の変化を表現に即して読み味わう。 ○絶句や律詩を中心に読み, その形式や表現の特色について理解する。 ○杜甫・李白・その他の詩人の詩を読み, 昔の人の豊かで細やかな心情を味わう。	【理解の度合い】
11	〃		
12	漢詩「杜甫・李白・その他」		
13	〃		
14	〃		
15	前期期末試験 前期期末試験の解答と解説		【試験の点数】 点
16	評論「ものと記号」	○日本語の特性をよく知り, 言語文化に対する関心を深める。 ○さまざまな形式や文体の文章を読み, 自らの表現に生かす。 ○三大歌集を読み比べ, 当時の人々の生活や心情を理解する。	【理解の度合い】
17	評論「文明のイデオロギー」		
18	〃		
19	和歌「万葉集」		
20	和歌「古今集」		
21	和歌「新古今集」		
22	〃		
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24	後期中間試験の解答と解説 評論「断片化する世界」	○論理の展開に即して内容を正確に読み取り, 自分の意見を持つ。 ○簡潔な漢文に読みなれる。 ○孔子・孟子・老子・荘子の思想の一端に触れ, 学問・人間・政治・人生などについての考えを深める。	【理解の度合い】
25	〃		
26	表現「君たちに伝えたいこと」		
27	論語・孟子・その他		
28	〃		
29	〃		
30	後期期末試験 後期期末試験の解答と解説		【試験の点数】 点
履修上の注意	漢字等の課題を出し, それを課題点とする。		【総合達成度】
教科書	小町谷照彦他, 「精選 国語総合」, 東京書籍		
参考図書	「新訂 最新国語便覧」, 浜島書店		
自学上の注意	授業で配布した資料は自宅で整理しファイルに綴じておくこと。		
関連科目	現代文, 地域日本文学, 日本語表現法		
総合評価	達成目標の(1)～(4)について, 4 回の定期試験と課題で評価する。 総合評価 = $0.8 \times (4 \text{ 回の定期試験の平均点}) + 0.2 \text{ (課題点)}$ 総合評価が 60 点以上を合格とする。再試験は, 総合評価が 60 点に満たない者に対して実施する。		